

トラクター用リヤ式散布機

粒状・微粒状・粉状薬剤兼用

サンソワ-

Xs-R4

Xs-R8

取扱説明書



この製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ずこの **取扱説明書** をお読みください。

間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

目 次

はじめに.....	2
安全に作業するために.....	3
梱包内容.....	4
取付金具の種類.....	5
本体の取付け	6
配線のつなぎ方.....	8
コントロールボックス 仕様 [XS-4 (1ホッパー仕様)].....	9
コントロールボックス 仕様 [XS-8 (2ホッパー仕様)].....	11
施肥量の調節方法	13
作業速度計算表	13
粒状肥料.....	14
ペレット状資材.....	15
微粒状資材	15
フロンサイド粉剤	17
リゾレックス粉剤	18
参考) 単位時間当たりの計測方法.....	19
データ記録表	20
不調の発見と処置	21
清掃と保管	23

この度はサンソワーをお買い上げいただき 誠にありがとうございます。

はじめに

使用目的について

サンソワーXsは粒状・微粒状・粉状薬剤の資材を散布することを目的とした作業機です。
他の使用や改造などは故障や事故を引き起こすおそれがありますので、決しておこなわないで下さい。
他の使用や改造などをした場合は補償の対象になりませんのでご注意下さい。

ご使用前に

- この取扱説明書はサンソワーXsの取扱方法と使用上の注意事項について記入してあります。
ご使用前には必ずこの取扱説明書を理解するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態で
ご使用下さい。
- お読みになった後も必ず製品とともに保存して下さい。
- 製品を貸したりゆずり渡される場合は、この取扱説明書を製品に添えてお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または汚損された場合は速やかにお買い上げ先にご注文下さい。
- 品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
その際には本書の内容及びイラストなどの一部が本製品と一致しない場合がありますのでご了承下さい。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げ先にご相談下さい。
- ⚠** 印の下記マーク付の項目は安全上、特に重要な項目ですので必ずお守下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

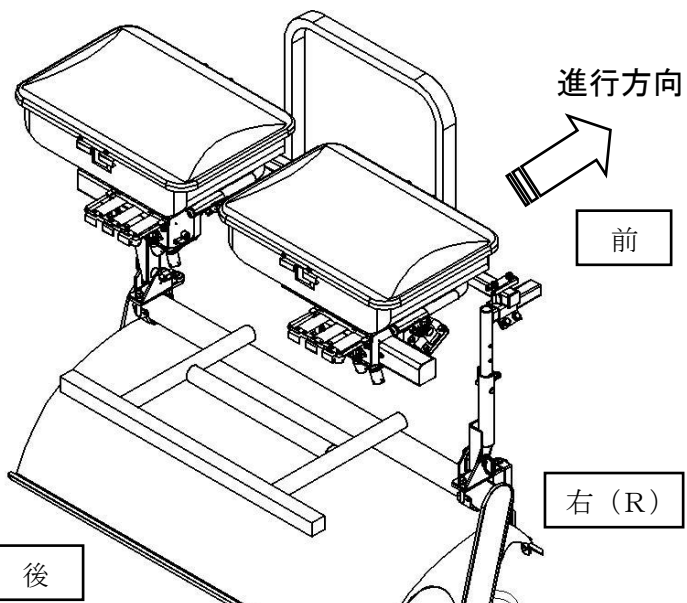
その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント
「安全に作業するために」が記入してあります。ご使用前に必ずお読み下さい。

□取扱い説明書についての注意点

本文説明の中で“左・右・前・後”とは、
トラクターの進行方向に向かってみた
方向です。

左 (L)



安全に作業するために

ここに記入されている注意事項を守らないと、傷害や事故及び機械の損傷が生じるおそれがあります。

○電装に関する注意項目

 警告	格納時は電気部品や配線類を点検しバッテリーとの接続をはずしておいて下さい。 〔守らないと〕 ショートしてやけどや火災をおこすおそれがあります。
 注意	ぬれた手でバッテリーや接続部に触れないで下さい。 〔守らないと〕 感電するおそれがあります。

○回転部分に関する注意項目

 注意	モーター回転時は回転部分（施肥ロールやモーター）へ手や身体を近づけないで下さい。 〔守らないと〕 巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。
---	--

○肥料投入時の注意項目

 注意	肥料の投入は平坦な場所でトラクターとロータリーを停止させ、かつロータリーを下げた状態で行ってください。 〔守らないと〕 トラクターやロータリーによってケガをするおそれがあります。
---	--

○移動、輸送時の注意項目

 注意	ホッパー内に肥料を入れたままの走行は絶対に止めてください。 〔守らないと〕 バランスを崩し、事故をまねいたりサンソワーの故障の原因となります。
 注意	トラクターに装着したままでの走行はしないでください。 〔守らないと〕 法規違反となり、また対向車や人、建物との接触事故をまねくおそれがあります。
 注意	輸送時はフタを取外して下さい。または、しっかりと固定して下さい。 〔守らないと〕 対向車や人、建物との接触事故をまねくおそれがあります。 また、フタの破損をまねくおそれがあります。

○取付時の注意項目

 注意	サンソワーの着脱は平坦な場所でトラクターのエンジンを停止させ、ロータリーを下げた状態で行ってください。 〔守らないと〕 下敷きになったりケガや破損をまねくおそれがあります。
---	---

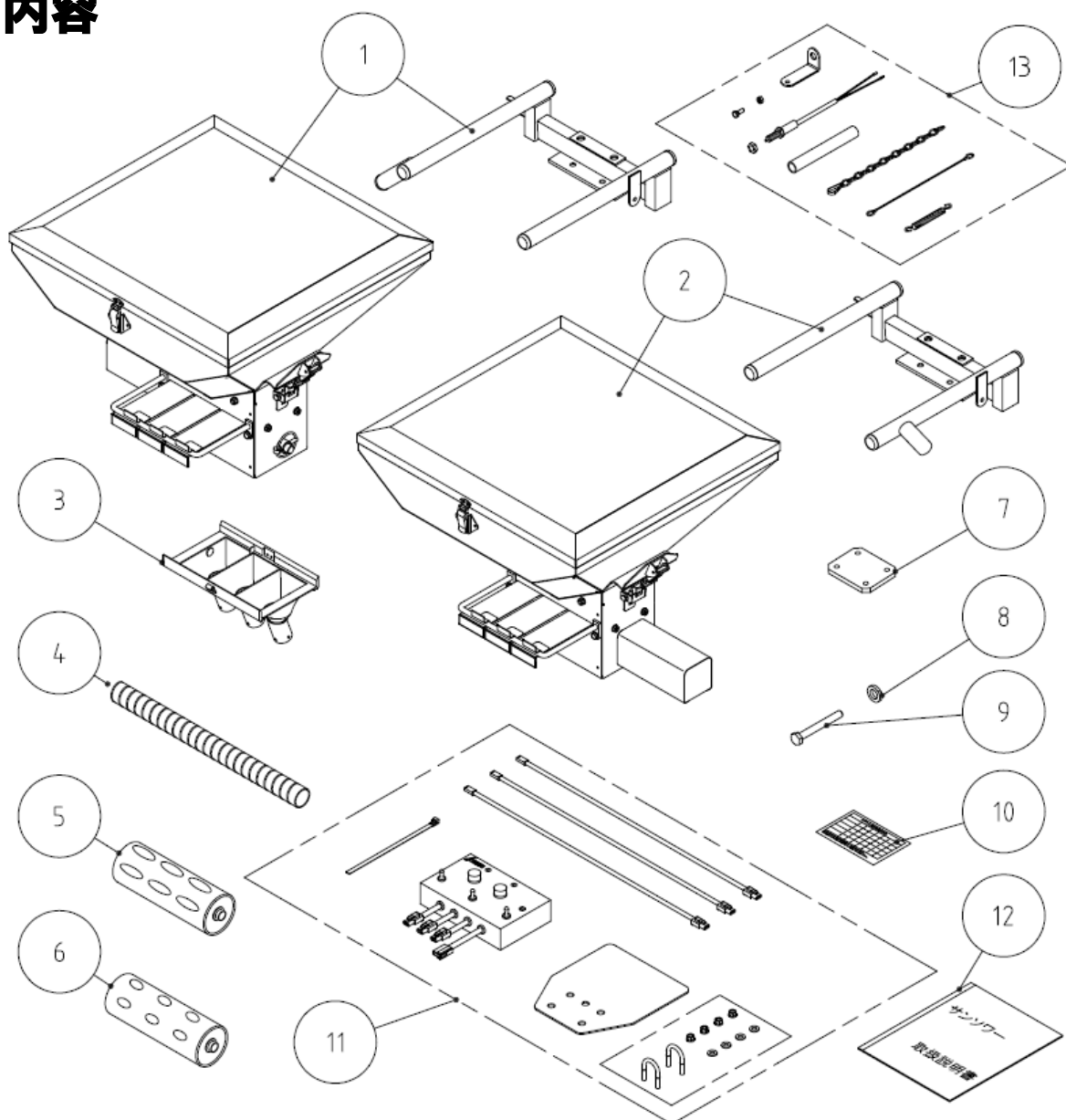
○散布時の注意項目

 警告	・農薬用マスク、保護メガネ、手袋などを着用し安全な服装で作業して下さい。 ・ホッパーに残った薬剤は必ず完全に排出して下さい。有毒ガスによる危被害の恐れがあります。 ・薬剤散布作業後の機体、散布装置は十分に洗浄し、洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。 〔守らないと〕 薬剤による中毒等をおこすおそれがあります。
---	--

○清掃・整備時の注意項目

 注意	清掃や整備はトラクターのエンジンを停止させ、ロータリーを下げ、電源コードを外してから手袋を着用して行ってください。 〔守らないと〕 不意な作動によりケガをするおそれがあります。
---	---

梱包内容



◎梱包明細

No.	名 称	個 数		備 考
		Xs-4	Xs-8	
1	ソワー本体仕組 左側	1 個	1 個	ソワー本体 L 側、ロール、ホッパーフレーム
2	ソワー本体仕組 右側	—	1 個	” R 側、ロール、ホッパーフレーム
3	散布口	1 個	2 個	標準仕様 3 本口
4	散布ホース	3 本	6 本	L = 1 2 0 0
5	H ロール	1 個	2 個	多量撒き
6	K ロール	1 個	2 個	少量撒き
7	プレート	1 個	2 個	ホッパーフレーム用
8	ばね座金	4 個	8 個	M 1 0
9	ボルト	4 個	8 個	M 1 0 × 6 5
10	散布目安表	1 個	1 個	
11	コントロール BOX 一式	1 袋	1 袋	BOX, 緑・赤・黒カ°ラコード 各 1 本 配線バンド 3 個, BOX ステ-, 袋入りリパ-ツ
12	取扱説明書	1 冊	1 冊	
13	プルスイッチ式	1 袋	1 袋	プルスィッチ (M12NT 付)、ホ-ス、チ-ン (ナスカン付)、 ワイヤ-バネ、ステ-, 配線バント°、M6 ボルト・ナット

取付金具の種類



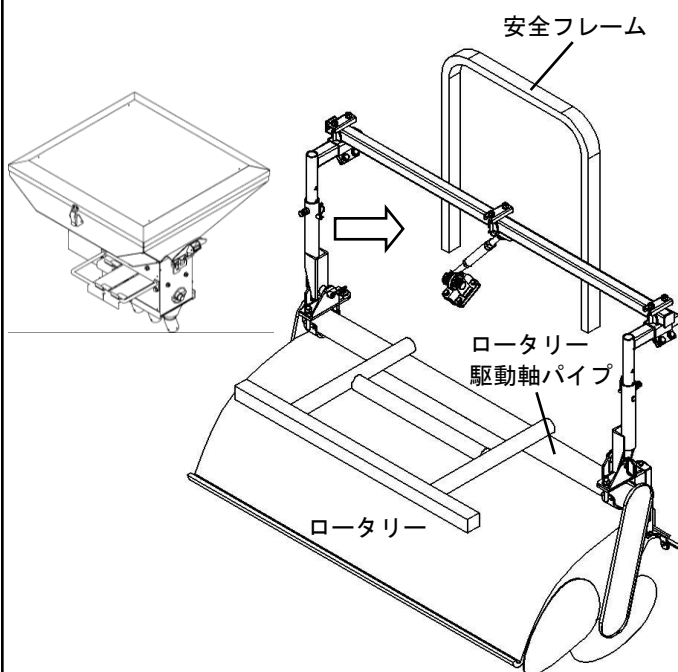
注意

サンソワーの着脱は平たんな場所でトラクターのエンジンを停止させロータリーを下げた状態で行って下さい。

※取付金具は、ロータリーマウント取付方式とトラクター本機取付方式用があります。
部品及び取付方法については、各取付金具の取扱説明書を参照して下さい。

■ロータリーマウント取付方式

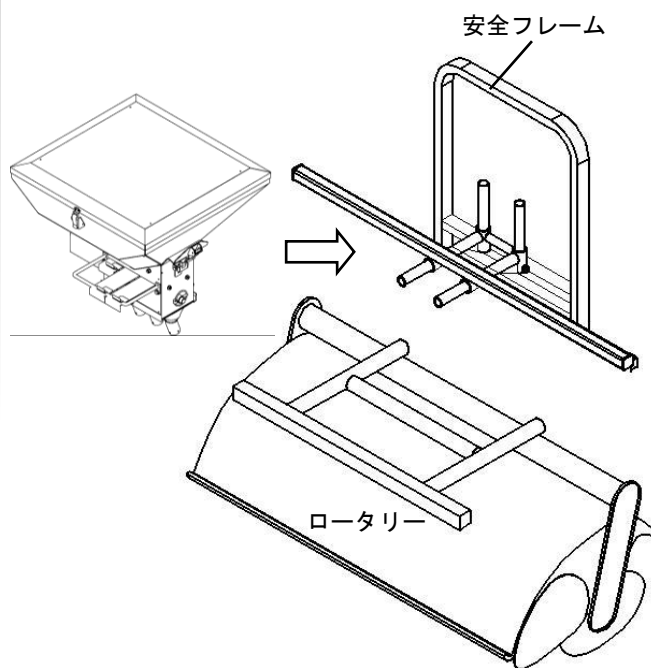
- ・ロータリー駆動軸パイプに取付金具を組付けます。
(サイドロータリーに限る)



注) センターロータリー及び特殊ロータリーには取り付けません。

■トラクター本機取付方式

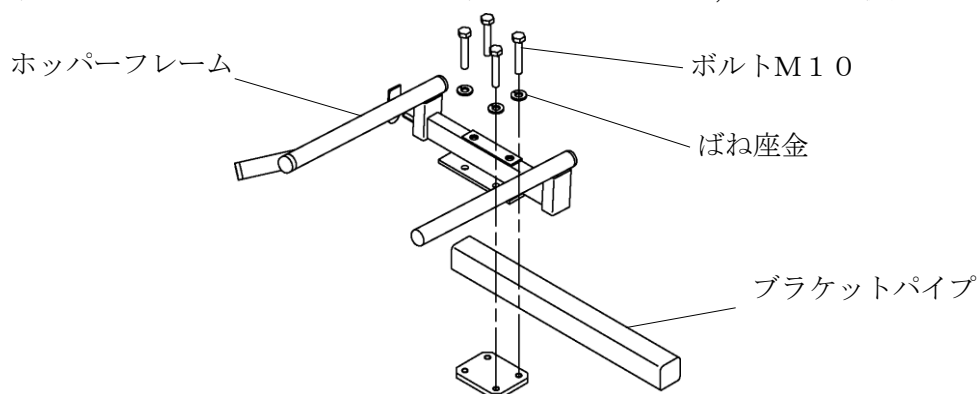
- ・トラクター本機に取付金具を組付けます。
(取付け方法については機種により異なります。)



本体の取付け

①ホッパーフレームを取付金具の角パイプ（ブラケットパイプ）に取付ける

- ・ホッパーフレームとプレートでブラケットパイプをボルト、ばね座金を使用してはさみ込みます。

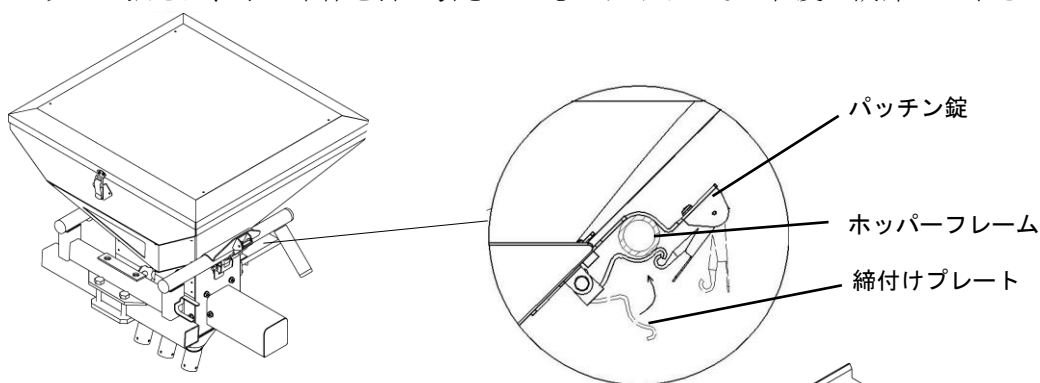


②ホッパー本体をホッパーフレームに取付ける

※ホッパーの左右はモーターが外側、ホッパー部のラベル（サンソワーX s）が後ろへ向くように取付けて下さい。

- ・本体両わきのR曲げた部分をホッパーフレームにのせます。
- ・パッチン錠を締付けプレートに引っ掛けロックします。

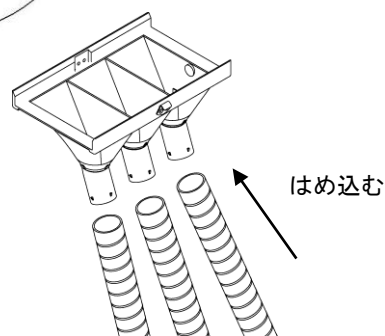
ロックの強さは、手で本体を押し引きしてもスライドしない程度に調節して下さい。



③ジャバラホースを散布口に取付ける

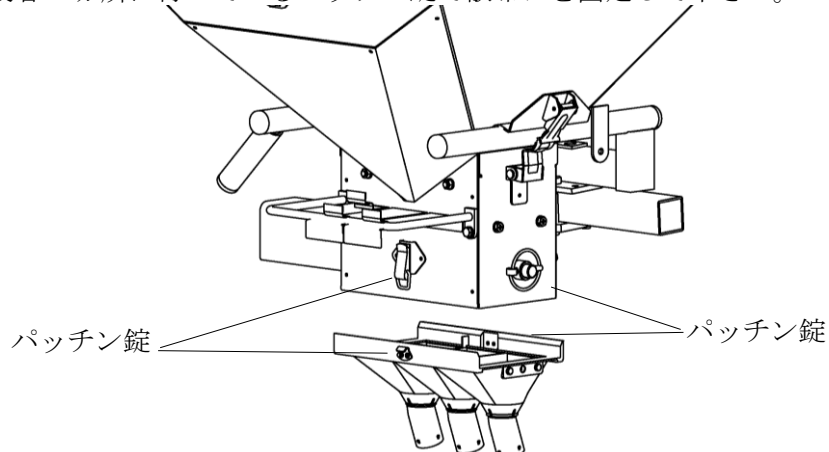
散布口にホースをらせんに沿うように回転させながら根元までねじ込んで下さい。

- ※ 固い時はホースを暖め、
やわらかくすると楽にはまります。



④散布口をホッパー本体に取付ける

本体の前後各1カ所に付いているパッチン錠で散布口を固定して下さい。



⑤ロータリーを上昇させ干渉部分の有無をチェックする

- ・ロータリーをゆっくり上昇させながらチェックして下さい。
- ・水平機構の付いたトラクターにおいては、ロータリーを左右に動かし干渉をチェックして下さい。

○特に干渉に注意する箇所

・キャビン仕様のリヤウィンドウを開けた状態

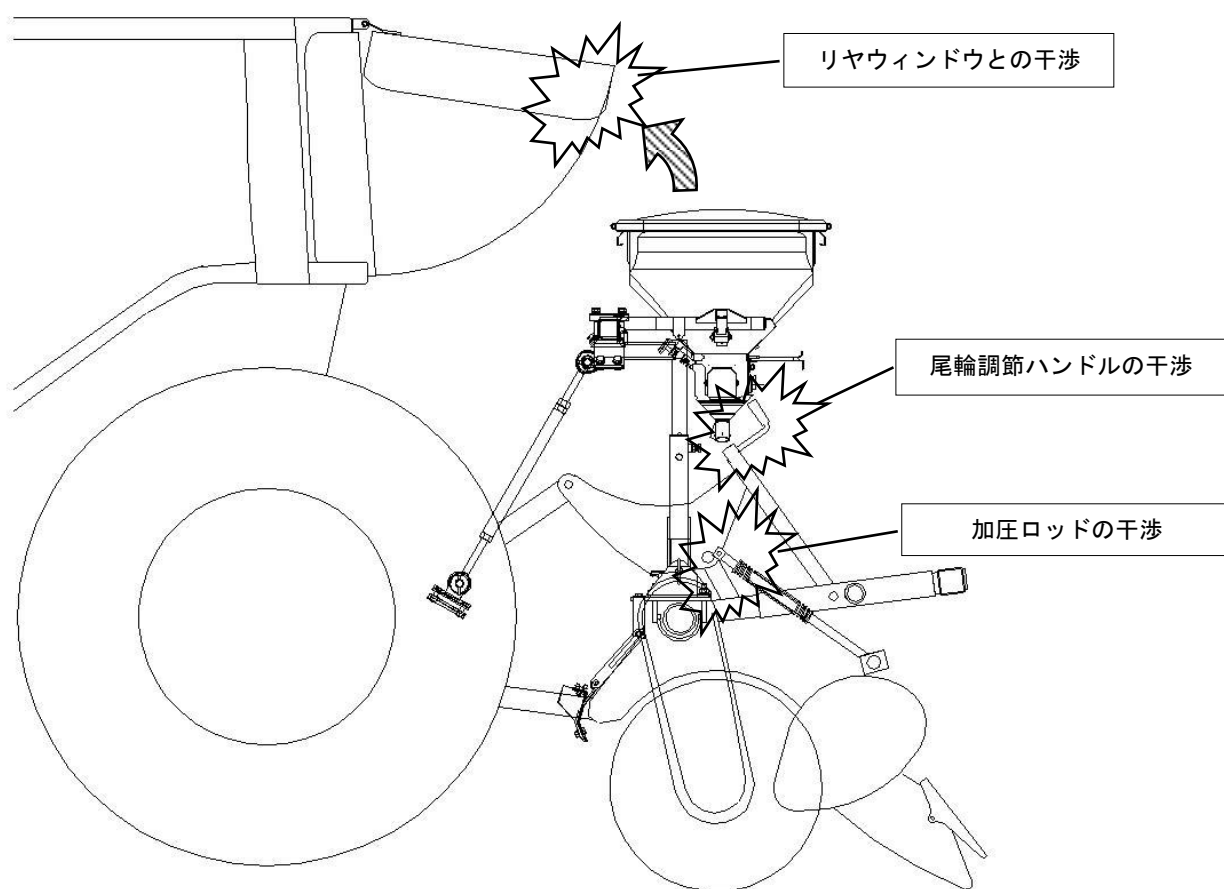
→ホッパーが座席後部に近寄ってきますので（ロータリーマウント仕様）、開けておくとホッパーやリヤウィンドウガラスを破損する恐れがあります。

・尾輪調節のハンドル

→ハンドルが上向きになっていると、ホッパー取付部の角パイプに当たり、ハンドルを曲げる恐れがあります。

・リヤカバーの加圧ロッド先端

→機種によっては加圧ロッドが上に長く突出しているものがあり、ロータリーの上昇に伴い、散布口近くを突き上げる恐れがあります。



⑥各部の締付を確認する

ホッパー満タンの時には金具や支点には強い力がかかりますので、ご使用前にはもう一度締付を確認して下さい。

⑥ガイドパイプ（拡散板）にホースを差込む

ホースの長さは全体の曲りがゆるやかで先がガイドパイプ（拡散板）から出過ぎない程度に切って調節して下さい。（カッターナイフよりハサミまたは稲刈鎌の方が安全です。）

なお ホースを切る時は ロータリーを降ろした状態で行って下さい。



注意

ホースを切断する時、手元に充分注意して下さい。

配線のつながぎ方

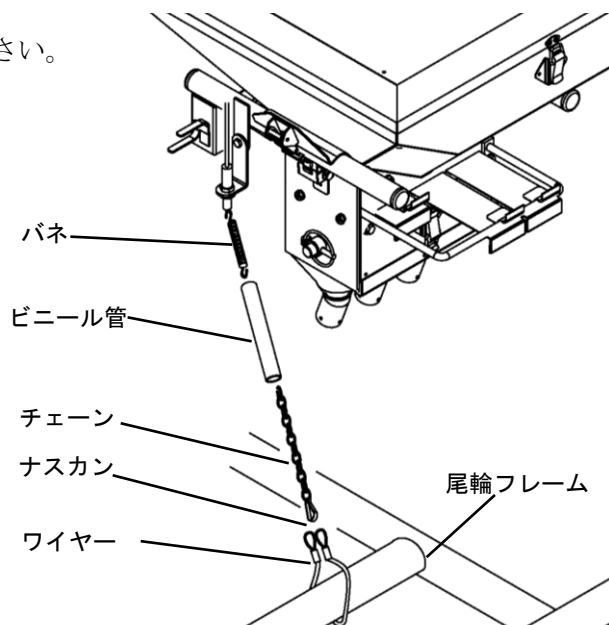
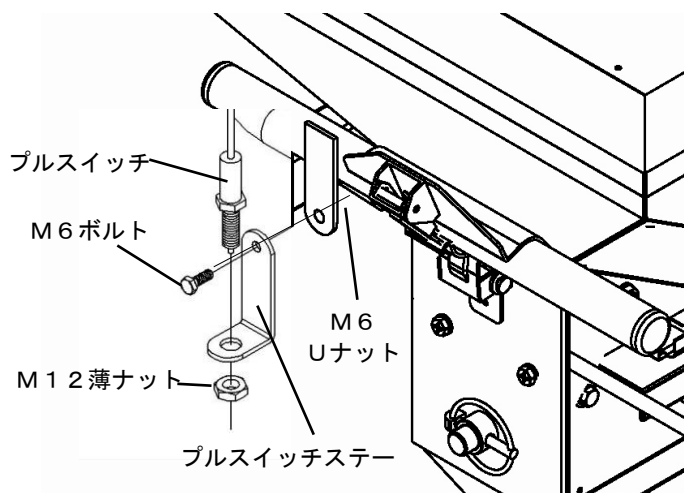


注意

ぬれた手でバッテリーや接続部にふれないで下さい。

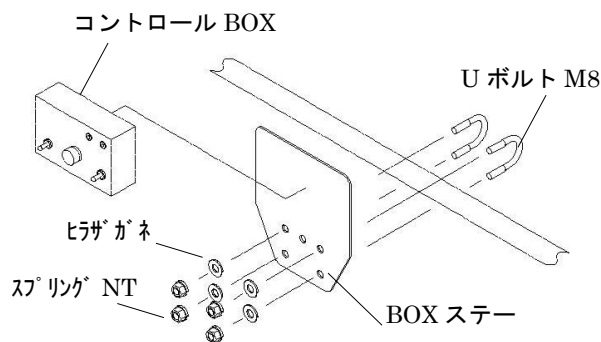
① プルスイッチを取付けます。

1. プルスイッチステーをホッパーフレームに取付けます。(M6 ボルト)
2. プルスイッチステーにプルスイッチを取付け、M1 2ナットで締付けます。
3. 引きバネを穴に引っかけます。
4. 尾輪フレームにワイヤーを巻付け、チェーン先端のナスカンで接続します。
5. ロータリーが下がった状態でプルスイッチが作動する(引張れる)長さにチェーンを調節します。
(長さはチェーンを引っかける位置で調節)
6. ビニール管をチェーンとワイヤーにはめ込んで下さい。



② コントロールボックスを取付ける

運転席の手すり等 (φ25 程度) にコントロール BOX ステーを取り付けます。(右図) そのプレートにマジックテープで固定します。手すり等が無い場合は、運転席のフェンダーなどに、マジックテープで固定します。周囲の操作レバー、スイッチなどの動きをさまたげないよう、取付け前に位置を充分確認してください。



③ 電源、モーター、プルスイッチの配線を接続する

- ・コントロールボックスより出ているカプラと同色カプラコードを接続します。
- ・反対側のカプラをそれぞれ電源・右モーター・左モーター・プルスイッチへ接続します。
- ・トラクターの電源は機種によりギボシ式、カプラ式の2種類に分かれます。

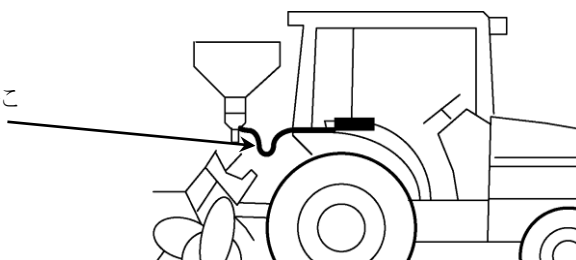
電源に合わせて接続して下さい。(ギボシ式の場合は別売りのギボシ対応コネクターが必要になります)

- ・配線完了後、モーターを回し、回転方向が合っているか確認して下さい。
(散布口を外すとロールの回転方向が確認できます。回転方向シールを参考にして下さい)

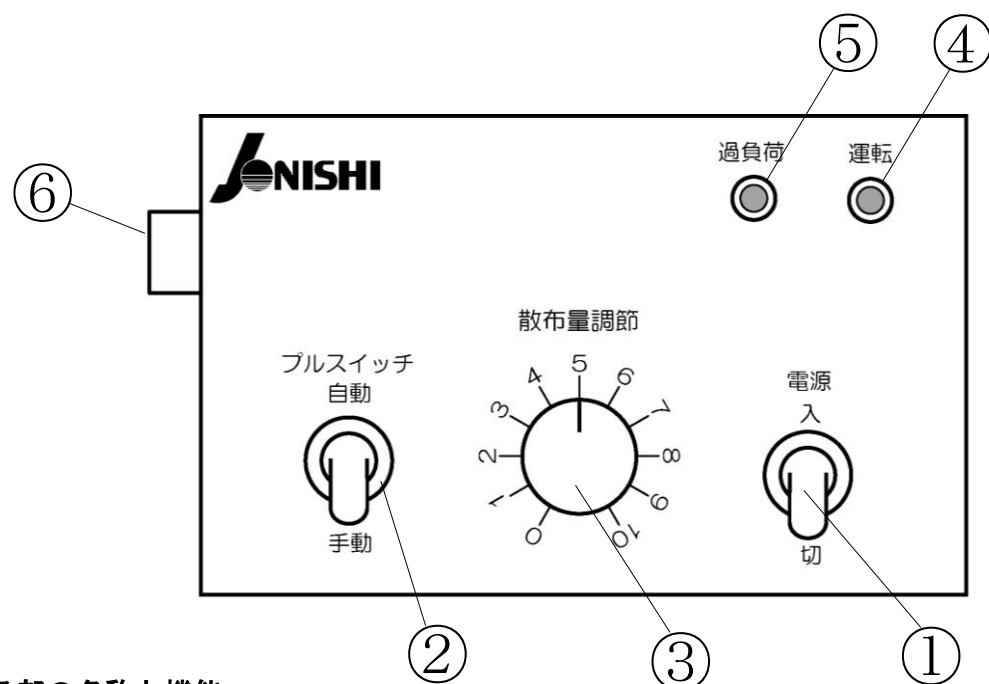
④ 配線のたるみを直します

付属品の配線バンドでフレーム及び座席後部にたるまないようにたぐり止めます。

この部分はロータリーを下げた状態でもコードにたるみがあるように調節してください。



コントロールボックス 仕様 [XS-4 (1ホッパー仕様)]



1. 各部の名称と機能 スイッチ (①～③)

No	名 称	機 能
①	電源	ソワー電源の“入”、“切”をします。 手動モード時は施肥ロールの作動・停止に使用します。
②	プルスイッチ	自動…プルスイッチによりロータリの下降・上昇に連動して作動、停止が自動的に行われます。 手動…電源スイッチの入切により作動、停止します。 (このスイッチはフロント式では使用しません。)
③	散布量調節ダイヤル	散布量を調節するダイヤルです。 散布量の調節方法を参考に目盛を設定して下さい。

ランプ (④～⑤)

No	名 称	機 能
④	運転	モータが回転すると点灯します。
⑤	過負荷	過負荷時に点灯します。

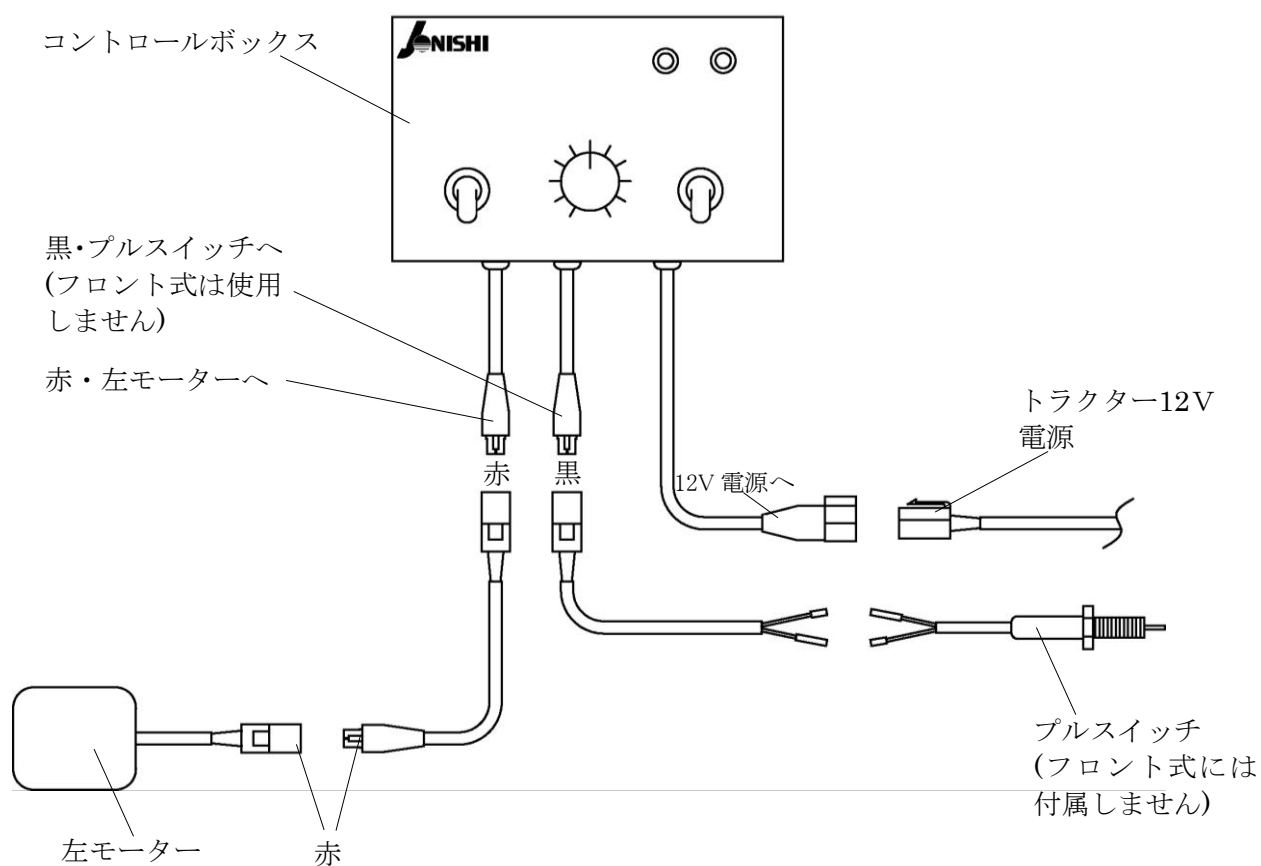
その他

No	名 称	機 能
⑥	ヒューズボックス	管ヒューズ 8 A

2.警告の動作と処置

警 告	動 作	処 置
過負荷	モーターに一定以上の負荷が生じた場合、機械保護のためモーターが停止します。それと同時に運転ランプが点灯します。	過負荷の原因を取り除き、電源を入れ直してランプ消灯を確認して下さい。

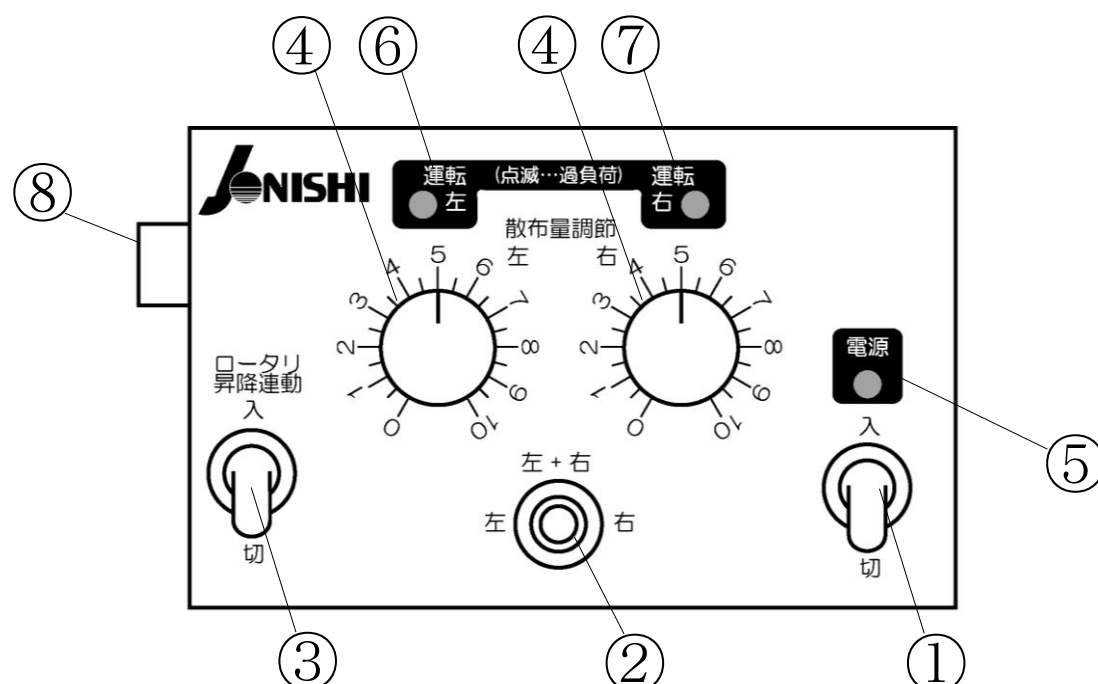
3. 接続図



使用上の注意

- ◎コントロールボックスの水ヌレは厳禁です。使用に際して充分注意して下さい。
- ◎本製品は電源の電圧が12V専用となっております。それ以外では使用しないで下さい。

コントロールボックス 仕様 [XS-8(2ホッパー仕様)]



1. 各部の名称と機能

スイッチ (①～④)

No	名 称	機 能
①	電源	ソワー電源の“入”、“切”をします。 手動モード時は施肥ロールの作動・停止に使用します。
②	ホッパー切替	左のホッパーのみ施肥したい時はスイッチを左に 右のホッパーのみ施肥したい時はスイッチを右に 両側のホッパーを同時に施肥する時は中央(左+右)に 用途に合わせて切替えて下さい。
③	ロータリ昇降連動	入…プルスイッチによりロータリの下降・上昇に連動して 作動、停止が自動的に行われます。 切…電源スイッチの入切により作動、停止します。 (このスイッチはフロント式では使用しません。)
④	散布量調節ダイヤル 左・右	散布量を調節するダイヤルです。 散布量の調節方法を参考に目盛を設定して下さい。

ランプ (⑤～⑦)

No	名 称	機 能
⑤	電源	電源が入ると点灯します。 GPS 異常の警告時に点滅します。
⑥	運転 左	左側の施肥ロールが回転すると点灯します。 過負荷時に点滅します。
⑦	運転 右	右側の施肥ロールが回転すると点灯します。 過負荷時に点滅します。

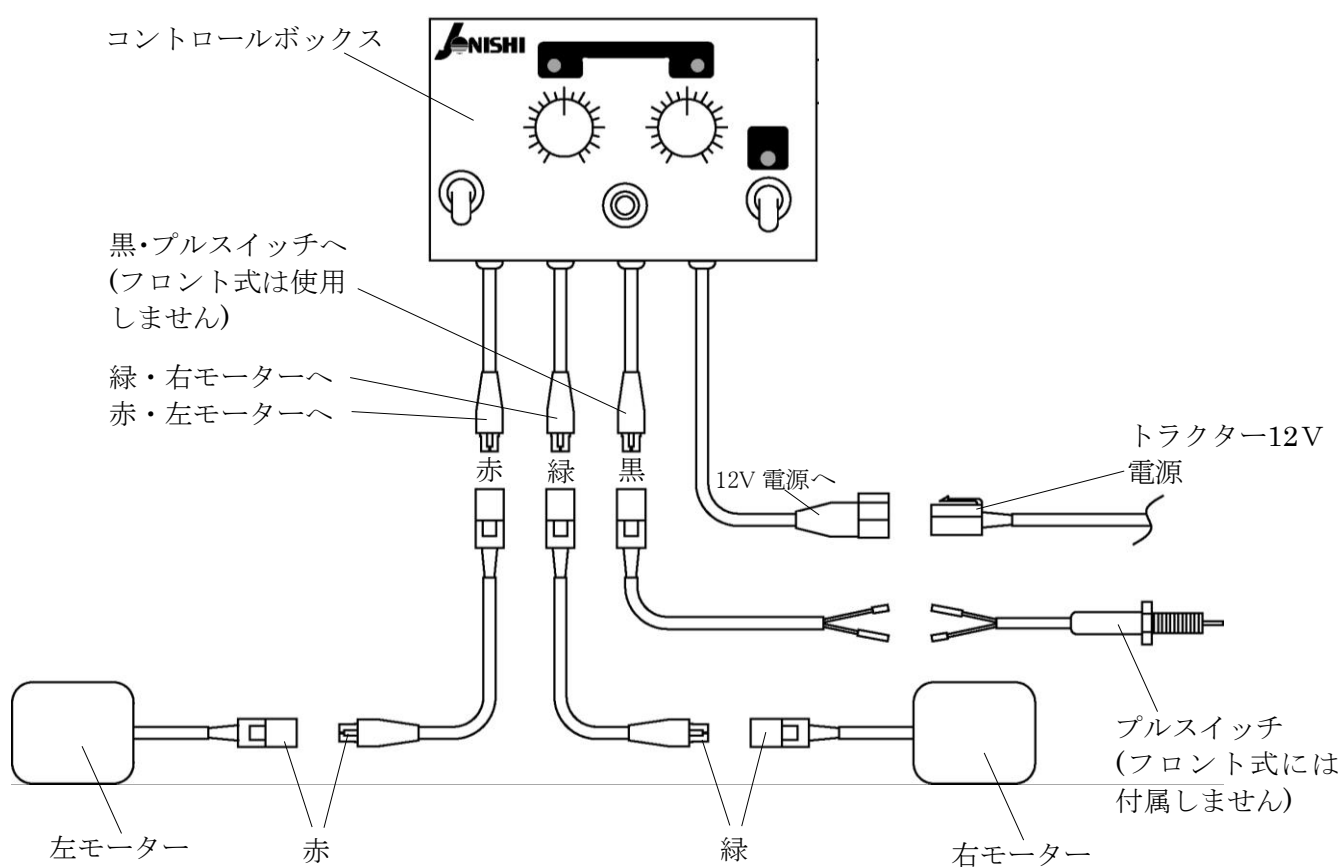
その他

No	名 称	機 能
⑧	ヒューズボックス	管ヒューズ 8 A

2.警告の動作と処置

警 告	動 作	処 置
過負荷	モーターに一定以上の負荷が生じた場合、機械保護のためモーターが停止します。それと同時に運転ランプが点滅します。	過負荷の原因を取り除き、電源を入れ直してランプ消灯を確認して下さい。

3. 接続図



使用上の注意

- ◎コントロールボックスの水ヌレは厳禁です。使用に際して充分注意して下さい。
◎本製品は電源の電圧が12V専用となっております。それ以外では使用しないで下さい。

施肥量の調節方法 （ダイヤル目盛設定方法）

当表による数値は目安です。肥料の形状によって差がでますので、ご了解願います。
（正確には単位時間当りの落下量を計測する方法によります）

散布量調節ダイヤルの設定方法

- ①表－１により１０a（１反）当たりの作業時間を設定します。
- ②反当たり作業時間と反当たり施肥量の両方の数値によって、該当する肥料の表－２～表－４からダイヤル目盛を求めます。

表－１ の見方

- １０a（１反）にかかる作業時間を求めるには
- ・作業時のトラクターの車速をトラクターの取扱説明書より求めます。
 - ・ロータリー幅を調べます。

下表の車速とロータリー幅の交わるところが１０aにかかる作業時間となります。（単位：分）
なお、表はスリップ損失１２％（１.１２）が掛けてあります。

例）ロータリー幅が１.８mで車速が１.０km/hとする時 作業時間＝３７分／１０a

作業速度計算表

表－１

車速 ロータリー幅	0.8 km/h	1.0 km/h	1.25 km/h	1.5 km/h	1.75 km/h	2.0 km/h	2.5 km/h	3.0 km/h	3.5 km/h	4.0 km/h	4.5 km/h
1.0m	84	67	54	44	38	33	27	22	19	17	15
1.2m	70	56	45	37	32	28	22	19	16	14	12
1.3m	65	52	41	34	30	26	21	17	15	13	11
1.4m	60	48	38	32	27	24	19	16	14	12	11
1.5m	56	45	36	30	26	22	18	15	13	11	10
1.6m	53	42	34	28	24	21	17	14	12	11	9
1.7m	49	40	32	26	23	20	16	13	11	10	9
1.8m	47	37	30	25	21	19	15	12	11	9	8
1.9m	44	35	28	24	20	18	14	12	10	9	8
2.0m	42	34	27	22	19	17	13	11	10	8	7

表－２ ～ 表－７ の見方

- ①左端の欄は反当たり作業時間を表します。
 ②最上段の欄はご希望の反当たりの施肥量を表します。
 ・左のXS-4は40ℓ（1ホッパー）を、XS-8は80ℓ（2ホッパー）を示します。
 ①と②の各数値の行の直交点が求めるダイヤル目盛となります。
 例）XS-8でヨウリン 10 a 当たり 60 kgを 31 分で散布しようとする時
 ダイヤル目盛は KT ロールで 6.5 、JT ロールで 2.2 となります。

粒状肥料（粒径 2 ～ 5 ミリ、比重：1.0）

表－２

散布機型式		10アール当たりの散布量 (kg)										
XS-4		20	30	40	50	60	70	80	90	100	125	150
XS-8		40	60	80	100	120	140	160	180	200	250	300
10 アール 当たり の 作業 時間 (分)	KTロール(少量)											
	7 JTロール(標準)	7.1										
	Hロール(多量)	3.4	5.2	7.0	8.8							
	KTロール(少量)											
	11 JTロール(標準)	4.4	6.7	9.1								
	Hロール(多量)	2.1	3.2	4.4	5.5	6.7	7.9	9.0				
	KTロール(少量)											
	13 JTロール(標準)	3.7	5.7	7.6								
	Hロール(多量)		2.7	3.7	4.7	5.6	6.6	7.6	8.6			
	KTロール(少量)	9.0										
	15 JTロール(標準)	3.2	4.9	6.6	8.3							
	Hロール(多量)		2.3	3.2	4.0	4.9	5.7	6.5	7.4	8.2		
	KTロール(少量)	7.5										
	18 JTロール(標準)	2.6	4.0	5.4	6.9	8.3						
	Hロール(多量)			2.6	3.3	4.0	4.7	5.4	6.1	6.8	8.6	
	KTロール(少量)	6.1										
	22 JTロール(標準)	2.1	3.3	4.4	5.6	6.7	7.9	9.1				
	Hロール(多量)			2.1	2.7	3.2	3.8	4.4	5.0	5.5	7.0	8.4
	KTロール(少量)	4.9	7.5									
	27 JTロール(標準)		2.6	3.6	4.5	5.4	6.4	7.3	8.3			
	Hロール(多量)				2.1	2.6	3.1	3.5	4.0	4.5	5.7	6.8
	KTロール(少量)	4.2	6.5	8.7								
	31 JTロール(標準)		2.2	3.1	3.9	4.7	5.5	6.4	7.2	8.0		
	Hロール(多量)					2.2	2.6	3.0	3.5	3.9	4.9	5.9
	KTロール(少量)	3.5	5.4	7.2								
	37 JTロール(標準)			2.5	3.2	3.9	4.6	5.3	6.0	6.7	8.4	
	Hロール(多量)						2.2	2.5	2.9	3.2	4.1	4.9
	KTロール(少量)	2.8	4.3	5.8	7.3	8.8						
	46 JTロール(標準)			2.0	2.5	3.1	3.7	4.2	4.8	5.3	6.7	8.1
	Hロール(多量)							2.0	2.3	2.5	3.2	3.9
	KTロール(少量)	2.2	3.5	4.7	5.9	7.2	8.4					
	56 JTロール(標準)				2.0	2.5	3.0	3.4	3.9	4.3	5.5	6.6
	Hロール(多量)									2.0	2.6	3.2
	KTロール(少量)		2.9	4.0	5.0	6.1	7.1	8.2				
	66 JTロール(標準)					2.1	2.5	2.9	3.3	3.6	4.6	5.6
	Hロール(多量)										2.2	2.7
	KTロール(少量)		2.2	3.1	3.9	4.7	5.5	6.4	7.2	8.0		
	84 JTロール(標準)							2.2	2.5	2.8	3.6	4.3
	Hロール(多量)											2.0

ペレット状資材（Φ5ミリ×長さ10ミリ）

※使用可能なロールはHロール（多量）のみとなります。

表－3

散布機型式		10アール当たりの散布量（kg）										
XS-4		20	30	40	50	60	70	80	90	100	125	150
XS-8		40	60	80	100	120	140	160	180	200	250	300
10アール当たりの作業時間（分）	7	5.8	8.8									
	11	3.6	5.5	7.4								
	13	3.0	4.6	6.2	7.8							
	15	2.6	4.0	5.4	6.8	8.2						
	18	2.1	3.3	4.4	5.6	6.8	7.9					
	22		2.6	3.6	4.5	5.5	6.4	7.4	8.4			
	27		2.1	2.9	3.7	4.4	5.2	6.0	6.8	7.5		
	31			2.5	3.2	3.8	4.5	5.2	5.9	6.5	8.2	
	37			2.0	2.6	3.2	3.7	4.3	4.9	5.4	6.9	8.3
	46				2.0	2.5	3.0	3.4	3.9	4.3	5.5	6.6
	56					2.0	2.4	2.8	3.1	3.5	4.5	5.4
	66						2.0	2.3	2.6	2.9	3.7	4.5
	84								2.0	2.3	2.9	3.5

微粒状資材（Φ1ミリ以下。バスアミドなど。）

表－4

散布機型式		10アール当たりの散布量（kg）									
XS-4		5	10	20	30	40	50	60	70	80	
XS-8		10	20	40	60	80	100	120	140	160	
10アール当たりの作業時間（分）	7 KTロール（少量）										
	7 JTロール（標準）	3.1	6.5								
	11 KTロール（少量）	5.7									
	11 JTロール（標準）	1.9	4.0	8.3							
	13 KTロール（少量）	4.8									
	13 JTロール（標準）		3.4	7.0							
	15 KTロール（少量）	4.1	8.5								
	15 JTロール（標準）		2.9	6.0							
	18 KTロール（少量）	3.4	7.0								
	18 JTロール（標準）		2.4	5.0	7.6						
	22 KTロール（少量）	2.7	5.7								
	22 JTロール（標準）		1.9	4.0	6.2	8.3					
	27 KTロール（少量）	2.2	4.6								
	27 JTロール（標準）			3.3	5.0	6.7	8.5				
	31 KTロール（少量）		4.0	8.2							
	31 JTロール（標準）			2.8	4.3	5.8	7.4	8.9			
	37 KTロール（少量）		3.3	6.8							
	37 JTロール（標準）			2.3	3.6	4.9	6.1	7.4	8.7		
	46 KTロール（少量）		2.6	5.4	8.3						
	46 JTロール（標準）				2.8	3.9	4.9	5.9	6.9	7.9	
	56 KTロール（少量）		2.1	4.4	6.8						
	56 JTロール（標準）				2.3	3.1	4.0	4.8	5.6	6.5	
	66 KTロール（少量）			3.7	5.7	7.7					
	66 JTロール（標準）				1.9	2.6	3.3	4.0	4.8	5.5	
	84 KTロール（少量）			2.9	4.4	6.0	7.5				
	84 JTロール（標準）					2.0	2.6	3.1	3.7	4.2	

※Hロールは使用不可となります。

散布機型式		１０アール当たりの散布量（kg）							
XS-4		5	10	20	30	40	50	60	80
XS-8		10	20	40	60	80	100	120	160
10 アール 当たりの 作業時間 (分)	7 KT ロール(少量)								
	JT ロール(標準)	3.1	6.4						
	11 KT ロール(少量)	6.4							
	JT ロール(標準)		4.0	8.2					
	13 KT ロール(少量)	5.4							
	JT ロール(標準)		3.3	6.9					
	15 KT ロール(少量)	4.7							
	JT ロール(標準)		2.8	5.9	9.0				
	18 KT ロール(少量)	3.8	7.9						
	JT ロール(標準)		2.3	4.9	7.5				
	22 KT ロール(少量)	3.1	6.4						
	JT ロール(標準)			4.0	6.1	8.2			
	27 KT ロール(少量)	2.5	5.2						
	JT ロール(標準)			3.2	4.9	6.6	8.3		
	31 KT ロール(少量)	2.1	4.5						
	JT ロール(標準)			2.7	4.2	5.7	7.2	8.7	
	37 KT ロール(少量)		3.7	7.7					
	JT ロール(標準)			2.3	3.5	4.8	6.0	7.2	8.5
	46 KT ロール(少量)		3.0	6.2					
	JT ロール(標準)				2.8	3.8	4.8	5.8	6.8
	56 KT ロール(少量)		2.4	5.0	7.6				
	JT ロール(標準)				2.2	3.1	3.9	4.7	5.5
	66 KT ロール(少量)		2.0	4.2	6.4	8.7			
	JT ロール(標準)					2.6	3.3	4.0	4.7
	84 KT ロール(少量)			3.3	5.0	6.8	8.5		
	JT ロール(標準)					2.0	2.5	3.1	3.6
								4.2	

※Hロールは使用不可となります。

散布機型式		10アール当たりの散布量 (kg)									
XS-4		5	10	20	30	40	50	60	70	80	
XS-8		10	20	40	60	80	100	120	140	160	
10 アール 当 た り の 作 業 時 間 (分)	7	KTロール(少量)	7.8								
		JTロール(標準)	2.4	5.0							
	11	KTロール(少量)	4.9								
		JTロール(標準)		3.1	6.4						
	13	KTロール(少量)	4.1	8.4							
		JTロール(標準)		2.6	5.4	8.2					
	15	KTロール(少量)	3.5	7.2							
		JTロール(標準)		2.2	4.7	7.1					
	18	KTロール(少量)	2.9	6.0							
		JTロール(標準)			3.8	5.9	7.9				
	22	KTロール(少量)	2.3	4.9							
		JTロール(標準)			3.1	4.8	6.4	8.1			
	27	KTロール(少量)		3.9	8.1						
		JTロール(標準)			2.5	3.8	5.2	6.6	7.9		
	31	KTロール(少量)		3.4	7.0						
		JTロール(標準)			2.1	3.3	4.5	5.7	6.9	8.1	
	37	KTロール(少量)		2.8	5.8	8.8					
		JTロール(標準)				2.7	3.7	4.7	5.7	6.7	7.7
	46	KTロール(少量)		2.2	4.6	7.1					
		JTロール(標準)				2.2	3.0	3.8	4.6	5.4	6.2
	56	KTロール(少量)			3.8	5.8	7.8				
		JTロール(標準)					2.4	3.0	3.7	4.4	5.0
	66	KTロール(少量)			3.2	4.9	6.6	8.3			
		JTロール(標準)					2.0	2.5	3.1	3.7	4.2
	84	KTロール(少量)			2.4	3.8	5.1	6.4	7.8		
		JTロール(標準)						2.0	2.4	2.8	3.3

※Hロールは使用不可となります。

散布機型式		10アール当たりの散布量 (kg)								
XS-4		5	10	20	30	40	50	60	70	80
XS-8		10	20	40	60	80	100	120	140	160
10 アール 当たりの 作業時間 (分)	7 KT ロール(少量)	8.4								
	JT ロール(標準)	2.4	4.9							
	11 KT ロール(少量)	5.2								
	JT ロール(標準)		3.1	6.3						
	13 KT ロール(少量)	4.4	9.0							
	JT ロール(標準)		2.5	5.3	8.1					
	15 KT ロール(少量)	3.8	7.8							
	JT ロール(標準)		2.2	4.6	7.0					
	18 KT ロール(少量)	3.1	6.5							
	JT ロール(標準)			3.8	5.8	7.8				
	22 KT ロール(少量)	2.5	5.2							
	JT ロール(標準)			3.1	4.7	6.3	8.0			
	27 KT ロール(少量)	2.0	4.2	8.7						
	JT ロール(標準)			2.4	3.8	5.1	6.5	7.8		
	31 KT ロール(少量)		3.7	7.5						
	JT ロール(標準)			2.1	3.3	4.4	5.6	6.8	7.9	
	37 KT ロール(少量)		3.0	6.3						
	JT ロール(標準)				2.7	3.7	4.7	5.6	6.6	7.6
	46 KT ロール(少量)		2.4	5.0	7.6					
	JT ロール(標準)				2.1	2.9	3.7	4.5	5.3	6.1
	56 KT ロール(少量)		1.9	4.1	6.2	8.4				
	JT ロール(標準)					2.4	3.0	3.6	4.3	4.9
	66 KT ロール(少量)			3.4	5.2	7.1	8.9			
	JT ロール(標準)					2.0	2.5	3.1	3.6	4.2
	84 KT ロール(少量)			2.6	4.1	5.5	6.9	8.4		
	JT ロール(標準)						1.9	2.4	2.8	3.2

※Hロールは使用不可となります。

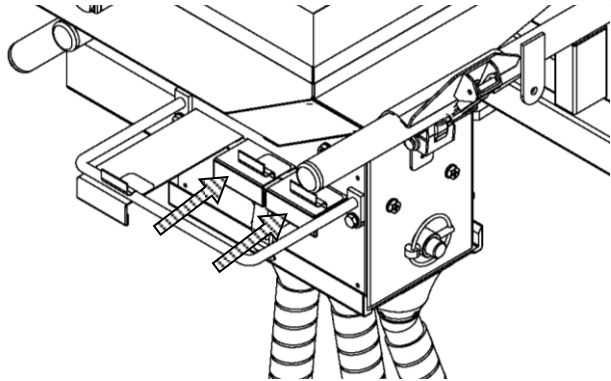
参考) 単位時間当たりの計測方法

もう少し正確にダイヤルを設定したい場合は、事前に定置で繰出テスト（単位時間当たり量計測）を行って下さい。

①計算により目標値（ホース1本の1分当たりの量）を求めます。

$$\frac{1 \text{ 反当たりの散布量 (kg)}}{1 \text{ 反当たりの作業時間 (分)} \times \text{ホースの本数}} = \text{ホース1本の1分当たりの量 (kg)}$$

②開閉シャッターを1ヶ所だけ開け
（ホース1本のみ出るように）
ホッパーに肥料を入れます。



③表から（仮の）ダイヤル目盛を合わせて1分間の量を測定します。

④測定結果が目標値に近づくようにダイヤル目盛を調節してテストを繰り返し、最良の位置を決定して下さい。

データ記録表

作 目	肥 料 名	反当施肥量	反当作業時間	ダイヤル目盛	備 考

不調の発見と処置

- ・不調を発見したらすぐにその原因を調べて処置をし、故障が広がらないようにします。
 - ・原因がわからないときや、修理調整しても再発するときは”お買上げ先”に相談し、点検サービスを受けて下さい。
- その際は「製造番号」（本体に貼付けてあります）をあわせてお知らせ下さい。

 注意	清掃や整備は必ず電源コードをはずして手袋を着用して行って下さい。
---	----------------------------------

 注意	モーター回転時は回転部分（施肥ロール、モーター）へ手や身体を近づけないで下さい。
---	--

① 電装関係

モーターが回らない

原 因（点検箇所）	処 置
コントロールボックスの電源が入っていない。	電源を入れてください。
散布量調節ダイヤルの値が小さすぎる。	散布量調節ダイヤルの値を大きめに変えてください。
ヒューズが切れている。	定格容量（8 A）のヒューズに交換して下さい。
コントロールボックス及びモーターの配線のゆるみ、はずれがある。	確実に接続されているか確認して下さい。
過負荷を解除せずに作動させている。	過負荷の原因を取り除き、電源を入れ直してランプ消灯を確認して下さい。
コントロールボックスのロータリ昇降連動スイッチをON側にして電源スイッチをON/OFFしている。	電源スイッチでON/OFF操作する時はロータリ昇降連動スイッチをOFFにして下さい。
電源とプルスイッチの配線を間違えて接続している。	配線を正常に接続し直して、ヒューズも確認して下さい。

モーターが逆回転する

原 因（点検箇所）	処 置
コネクタの接続が同色になっていない。	同色のコネクタどうしを接続して下さい。

ロータリ昇降連動スイッチが作動しない

原 因（点検箇所）	処 置
コントロールボックスの電源が入っていない。	電源を入れてください。
ロータリ昇降連動スイッチが‘切’になっている。	ロータリ昇降連動スイッチを‘入’にしてください。
プルスイッチの配線のゆるみ、はずれがある。	確実に接続されているか確認して下さい。
ロータリーを下げた状態でプルスイッチが引ききれず、スイッチが入っていない。	プルスイッチが作動する長さにチェーンを調節して下さい。

② 散布状態

不 調	調 整 方 法
1. 左右のホッパーの残量がばらつく。(2ホッパータイプのみ)	・ 散布量調節ダイヤルで調節してください。
2. 散布しないときの振動による散布資材のこぼれ。	・ 本体内部にセットしてあるブラシを施肥ロールに押し気味に均等に再調整します。

清掃と保管

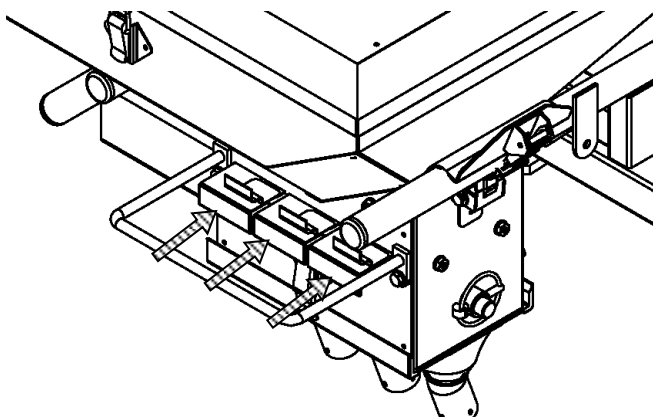
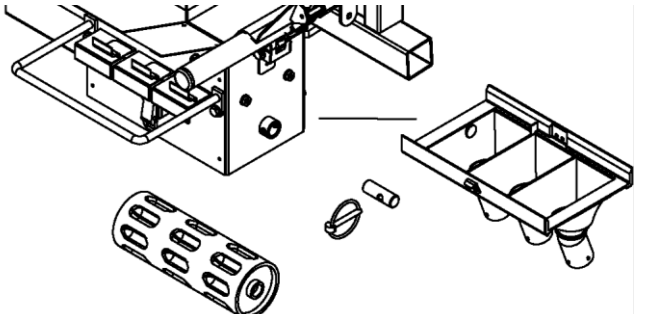
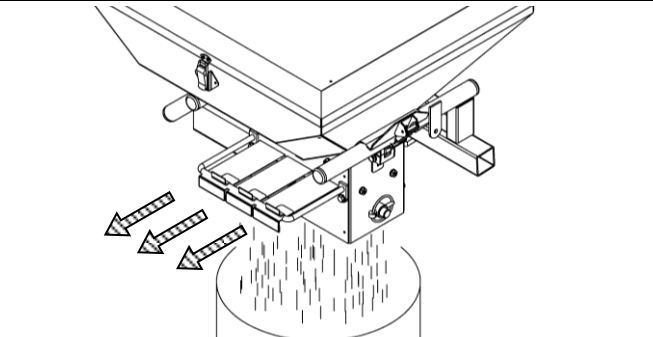
1) 1日の作業が終了したとき 手順

①ホッパー内に残った肥料を排出して下さい。



注意

清掃や整備は必ず電源コードをはずして手袋を着用して行って下さい。

1.	開閉シャッターの3カ所を閉めます。	
2	散布口のパッチン錠をはずしホースとともに取外して下さい。	
3	施肥ロール主軸のピンを抜き施肥ロールを外して下さい。	
4	本体下部に袋等を受け、開閉シャッターを開け残量を排出して下さい。	

②取外した**施肥ロール・散布口**を清掃して下さい。

③本体内部に取付けてある**ブラシ間の肥料づまり**を清掃して下さい。

④コントロールボックスを水のかからない場所に保管して下さい。



警告

格納時は電気部品や配線類のコードを点検し、トラクターとの接続を外しておいて下さい。



注意

ホッパーをシンナーや濃い中性洗剤で拭くと、ひび割れることがあります。
掃除は水拭きをおすすめします。

2) 長期の保管をするとき

①上記と同様の清掃をして下さい。

②電装のハーネスは主電源となる電源側から取外しておいて下さい。

③取付金具からホッパーを外し、金具類はピン及び締付ナット等をゆるめ、分解・収納します。

取扱説明書品番

52928 001M1

2019.1 月

製造元



株式会社 ジョーニシ

〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野4番1号
TEL 0748(62)4110(代表) FAX 0748(62)9054
<http://www.jonishi.co.jp>